

『荒尾干潟水鳥・湿地センター(仮称)』の整備内容を検討

“宝の海” 荒尾干潟を育む“活動と利用の拠点施設”の整備のあり方について検討する、『荒尾干潟 “活動と利用の拠点施設” 整備ワークショップ』。

この第 2 回目のワークショップが、12 月 3 日(木)に荒尾市役所会議室で開催され、総勢 29 名の市民と行政関係者(荒尾市、長洲町、熊本県)が集まり、第 1 回目の議論をさらに深めていきました。

今回のワークショップでは、第 1 回ワークショップでの議論を踏まえ整理した、施設整備プランのたたき台(建物の内部空間、及び建物の外部空間)をベースに、施設の「機能(諸室)の配置や動線」「大きさや広さ」「必要な設備」「その他の配慮事項」等について、新たな 4 つの班に分かれて考え、意見やアイデアをまとめていきました。

■第 2 回ワークショッププログラム

- 前回の検討の振り返り
- ↓
- 『活動と利用の拠点施設』のたたき台プランを知ろう
- ↓
- 『活動と利用の拠点施設』のたたき台プランを考えよう
- ↓
- 『活動と利用の拠点施設』のプランを発表しよう

■ワークショップ全体の流れ

第 1 回ワークショップ
 <11 月 11 日(水) 19:00~21:00 於; 荒尾市役所 11 号会議室>
 テーマ:『“活動と利用の拠点”の使い方を考えよう!』
 ~拠点施設の機能や空間のあり方について考えます~

▼

第 2 回ワークショップ
 <12 月 3 日(木) 19:00~21:00 於; 荒尾市役所 11 号会議室>
 テーマ:『“活動と利用の拠点”での整備内容を考えよう!』
 ~活動内容等にふさわしい整備内容について考えます~

▼ ※注) ワークショップの議論の進捗に合わせて、当初のテーマを変更しています

第 3 回ワークショップ
 <12 月 17 日(木) 19:00~21:00 於; 荒尾市役所 11 号会議室>
 テーマ:『“活動と利用の拠点”の整備プランをまとめよう!』
 ~拠点施設の整備プランの原案をまとめます~

▼

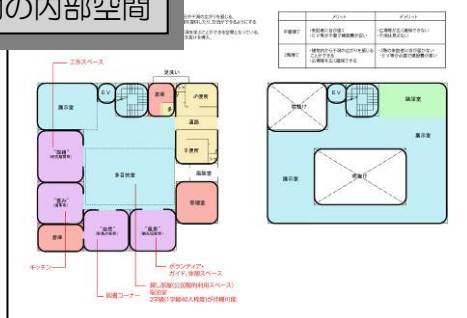
3 月上旬頃
 基本計画・設計とりまとめ/概要報告
 ※ニュースレターでお知らせします



山下慶一郎 荒尾市長より開会のご挨拶

■施設整備プランのたたき台

建物の内部空間



建物の外部空間



■第1回ワークショップの議論を踏まえた『活動と利用の拠点施設』の整備プランのたたき台に対する意見・アイデアのまとめ

| 論点 | | 各班の意見・アイデア等 (◆:ハード整備に関するもの ◇:必要備品 ○:ソフト整備に関するもの ※:特記事項等) | | | | |
|------------|------------|---|--|---|--|---|
| | | 1班 | 2班 | 3班 | 4班 | |
| 施設全体 | 施設配置 | ◆広場→建物→駐車場(たたき台プランです) | ◆広場→建物→駐車場(たたき台プランです) | ◆小広場→駐車場→建物→広場 | ◆広場→建物→駐車場(たたき台プランです) | |
| | 管理・運営 | ○開設時間の検討 ※近隣住民への配慮のため夜間閉鎖、時間外の対応等 | ○施設利用料金の検討 ※無料でなく、協力を徴収して環境保全に還元 ○施設名称の公募 | | | |
| 建物全体 | 階層 | ◆2階建(土地を有効活に活用し、広場・駐車場を確保でき、目立つため) ◆屋上の展望所利用 | ◆2階建 | ◆2階建 | ◆展望室付き3階建 | |
| | 敷地地盤高 | | ◆敷地地盤の高上げ等による眺望の確保(2.5階建程度) | | ◆松並木と建物の地盤のフラット化 | |
| | 建物出入口 | | ◆建物出入口の検討(同時に多数の利用者が来場する際の懸念) ※箇所数、非常口、干潟・駐車場・広場からのアクセス等 | ◆搬入口の検討 | ◆建物出入口の検討 ※松林、駐車場からのアクセスに配慮 | |
| | 休憩スペース | | | ◆休憩スペースの充実 ※1階は賑やかな活動空間、2階は静かでほっとできる空間とし、棲み分けを図る ※休憩スペースの場所は、フロアの中央部より角地が望ましい ※休憩スタイルは寝転がったり、親子で楽しめるなど | ◆休憩スペースの充実 ※いやし・くつろぎ、お茶・食事、靴を脱いで上がる場所等 ※設置場所は採光のある南側等 | |
| | 採光 | | | | ◆採光の確保 ※掃き出し窓等 ◆松林側の窓設置 | |
| | 防犯 | ◆防犯カメラの設置 | | | | |
| | デザイン | | ◆建物外観・室内等のデザインモチーフの検討 ※子供たちの絵などの活用 | | | |
| | 省エネルギー | | ◆太陽光利用 ※屋上に太陽光発電装置を設置 ◆隣接する松並木に生息する野鳥等が観察可能となる工夫 ◆壁面へのPR看板の設置 ※広告料の徴収等 | | | |
| | その他配慮事項等 | | | | ◆バリアフリー設備 ※身障者用リフト | |
| | 建物内部空間 | 交流機能 | <多目的室> ◆専用の会議室(他の用途との兼用は障害が懸念される) →◇可動式椅子 ◆宿泊・研修機能の充実 →◇寝袋・マット等 | ◆収容人数の検討 ※バス1台=50人程度の収容は必要 | ◆可変区切り ※利用目的により区切りを変更 ◆情報掲示板 ※ライブ情報板(現在の風景、マナー注意喚起等) ※入口付近に設置 ◆驚きのある展示 ※立体展示・実物展示等 | ◆映像展示スペース ※ビデオ鑑賞可能な教室等 →◇TV(四季の野鳥の映像等) ◆ライブカメラ ※海岸の状況をリアルタイムで配信 |
| 展示・運営機能 | | <"風景">(観光協会) <"自然">(野鳥の会) <"営み">(漁協) <"取組">(大学研究機関) | ○道具貸出し →◇長靴等 | ○活用方法検討 ※レクチャールーム、子供たちの展示スペース等 →◇図書コーナーには図鑑(野鳥・底生生物等)を所蔵 | ◆展示運営諸室の可変仕切り ※利用目的に応じて仕切りを変更 ◆ボランティアガイド休憩室 ◆調理実習室(設備) →◇"営み"における海苔すき体験、海産物の調理教室等 | |
| 展示機能 | | <1F展示室> | ◆水槽展示 | ◆映像または写真展示 ※四季の風景写真等 →◇TVモニター | ◆映像展示 ※映写室(ライブ解説) | |
| | | <2F展示室> | ◆立体展示 →◇スクリーン、空間展示のためのフックの装備等 ○写真・書画展示 ※壊れにくいもの | | ◆実物展示 ※底生生物等 ◆音声展示 ※野鳥の鳴き声等 ○有明海・干潟に関わる展示・解説 ※ガイドによる解説を可能とする展示等 ○堤防壁画教室の開催 ※海の美術館(「有明元気づくり」実施中)に展示する壁画等 | |
| 管理・運営機能 | | <管理室> <倉庫> | | | | |
| 便益機能 | | <トイレ> <シャワー> その他 | ○トイレ・足洗い場24時間利用可能とする ○防犯対策 ※利用者数に応じた適正設置数の検討 | | | |
| 眺望機能 | | <眺望室> | | ◆眺望室(バリアフリー・荒天時の利用の観点から必要) | ◆授乳室 ◆出入り可能なデッキ・ベランダ | |
| その他の施設・設備等 | | | | ◆情報発信設備 ※インターネット等 | ◆ライブカメラ ※野鳥飛来状況等 | |
| 建物外部空間 | | 広場 | ◆イベント利用のため駐車場を最小限とし、広場を広く確保 ※駐車場台数10台程度 | ○広場の利用方法の検討 ※仮設テントでの荒尾の地場産品紹介・販売等 | ◆広場は奥に設置 ※子供たちが安全に遊べる広場 ◆バーベキュースペースの設置 ※"営み"(漁業)と連携 | ◆四阿の設置 |
| | | 駐車場 | | | ◆駐車場は手前に設置 ※車路用地(幅員・距離)の最小限化 ◆物販施設が立地可能な小広場の設置 ※入口に近接して設置 | ◆車路幅員の最適化検討 ◆車路走行車両の減速対策 ◆管理用駐車スペースの奥への移設 |
| | バックヤード | ◆倉庫(広場用) →◇パラソル、椅子等 | | | | |
| | その他の機能・施設等 | ◆足洗い・水場 ※道路・倉庫に近い場所に別途設置 ◆散策路動線の最適化 ※干潟へのアクセスや足洗い場の利用がしやすい楽しい散策路 | | | ◆別棟の倉庫の設置(増設) ※展示漁具の保管等 | |
| 敷地外 | 松林 | | | ○松並木の蚊の対策 ※松並木散策利用時、及び建物内への進入対策等 | ○松枯れ対策 | |
| | 干潟(海) | | ◆○干潟利用の(ソフト対応も含めた)安全対策の検討 ※干潟の道の安全誘導、車椅子による干潟利用等 | ◆野鳥観察施設の設置 ※ハイド等 | | |
| | アクセス路 | | ◆アクセス歩道整備 ※南荒尾駅～センター間 | | | |

『活動と利用の拠点施設』のたたき台プランを考える

施設整備プランのたたき台に対する議論では、主に建物内部について、使用目的に応じ柔軟に区切ることでできる交流・展示空間の必要性、休憩スペース・眺望室・倉庫の充実、出入口の再検討、建物外部については、広場・建物・駐車場の配置、足洗い場の充実等の意見・アイデアが出されました。

また、開館時間や防犯対策等、地域にも受け入れられる施設として、今後とも検討が必要であることも確認しあいました。（※詳細の検討内容は、前頁をご参照下さい。）

■各班の検討成果



有識者の先生からのアドバイス

ワークショップのアドバイザーである小林寛子先生（東海大学経営学部観光ビジネス学科エコツーリズム研究室 教授）からは、「今回は、様々な視点から具体的な意見を交わすことができました。今後は、子供たちや市外から訪れる方々の視点も大切であるため、今回のワークショップの参加者以外の方々も巻き込みながら考えていくことが望めます。」とのアドバイスを頂きました。

第2回ワークショップ点描



たたき台プランを知ろう



たたき台プランを考えよう



プランの意見を発表しよう

今後のワークショップの開催予定

第3回ワークショップ:12月17日(木)19:00~21:00

○場所：荒尾市役所 11号会議室 ○開場・受付開始：18:45~

■お問い合わせ先：

『荒尾干潟“活動と利用の拠点施設”整備ワークショップ』事務局/株式会社プレック研究所九州事務所 担当：木寺・大道
〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名 2-4-19 TEL:092-771-5211 FAX:092-771-5330

■主催：

環境省 九州地方環境事務所 野生生物課 担当：清永
〒860-0047 熊本県熊本市西区春日 2-10-1 熊本地方合同庁舎 B棟 4階 TEL:096-322-2413 FAX:096-322-2447